

防除用紙番号	すいか	品種名	ほ場番号	生産者番号	生産者氏名	収穫開始日	収穫終了日
1	紅梨	①②③ 456	6506	三橋 寛	/	/	

4.防除関係 (使用した薬剤名の使用月日欄・使用濃度(希釈倍数)欄・散布量(散布水量)欄にそれぞれ記入する。)
 ※防除用紙についてはほ場・品種・収穫時期が異なる場合は別用紙に記入する。ただし、品種・収穫時期が同じで、農薬散布を常に同一日に散布できる場合は同じ防除用紙に記入してもよい。(防除用紙が複数枚になる場合は作型の早い順に用紙番号と総枚数を記入する)

用途	使用農薬	薬剤名	収穫前日数	使用回数	希釈倍数 または使用量	使用液量・使用量 (10aあたり)	使用月日・使用濃度(希釈倍数)および散布量(散布水量)											
							1回目		2回目		3回目		4回目					
						月/日	濃度	散布量	月/日	濃度	散布量	月/日	濃度	散布量	月/日	濃度	散布量	
殺		ダコニール 1000	3日	5回	700~1000	100~300ℓ	6/15	1000倍	300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	
		ジマンダイセン水和剤	7日	7回	400~600	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		ベルケート水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	6/27	1000倍	300ℓ	7/14	1000倍	300ℓ	7/25	1000倍	300ℓ	/	/	
		トップジンM水和剤	前日	5回	1500~2000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		ベンレート 水和剤	前日	5回	2000~3000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		アミスター 20フロアブル	前日	4回	2000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		オーソサイド水和剤80	14日	5回	400~800	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	園		リドミルゴールドMZ	7日	3回	1000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
			Zボルドー水和剤	-	-	500~800	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
								/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
							/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
殺		ダントツ 水溶剤	前日	3回	2000~4000	100~300ℓ	6/27	4000倍	300ℓ	7/25	4000倍	300ℓ	/	/	/	/	/	
		フェニックス顆粒水和剤	前日	2回	2000~4000	100~300ℓ	6/27	4000倍	300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	
		マラソン 乳剤	前日	6回	1000~3000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		テルスター水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	7/14	1000倍	300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	
		トレボン 乳剤	3日	3回	1000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		ベストガード水溶剤	7日	3回	1000~2000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	虫		ダニサラバ フロアブル	前日	2回	1000	100~350ℓ	7/25	1000倍	300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/
			コロマイト乳剤	7日	2回	1000	100~300ℓ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
			アトキヤ	1回	1回	5g/株		4/24	5g	2kg	/	/	/	/	/	/	/	/
								/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

* つがるブランドすいかは農薬成分使用回数が10回以内です。 * 上記農薬は2016/05/25に登録確認しました。
 ★農薬の安全使用について
 ①必ず登録のある農薬(農薬は、随時新規登録、登録失効等の変更があります最新の登録状況を確認してください)を使用しましょう。
 ②農薬の使用に当たっては、必ず農薬の使用基準(適用作物、希釈倍率、収穫前日数、使用回数、使用液量)を確認して使用しましょう。
 ③薬剤名や剤形が違って成分が同じ農薬があります、同一成分での総使用回数制限がありますので、必ず農薬のラベルで確認して使用しましょう。
 ④散布時は、他の作物や収穫期の異なるすいか・メロン、隣接ほ場への飛散(ドリフト)に充分注意し、散布後は散布機具の洗浄を徹底しましょう。

防除用紙番号	→	すいか 品種名	紅子	ほ場 番号	1 2 ③ ④ 5 6	生産者 番号	6506	生産者 氏名	三橋寛	収穫開始日	/ /
										収穫終了日	/ /

4. 防除関係 (使用した薬剤名の使用月日欄・使用濃度(希釈倍数)欄・散布量(散布水量)欄にそれぞれ記入する。)
 ※防除用紙についてはほ場・品種・収穫時期が異なる場合は別用紙に記入する。ただし、品種・収穫時期が同じで、農薬散布を常に同一日に散布できる場合は同じ防除用紙に記入してもよい。(防除用紙が複数枚になる場合は作型の早い順に用紙番号と総枚数を記入する)

用途	薬剤名	収穫前日数	使用回数	希釈倍数 または使用量	使用液量・使用量 (10aあたり)	使用月日・使用濃度(希釈倍数)および散布量(散布水量)								
						1回目		2回目		3回目		4回目		
						月/日	濃度	月/日	濃度	月/日	濃度	月/日	濃度	
殺	ダコニール 1000	3日	5回	700~1000	100~300ℓ	6/27	1000倍	250ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	ジマンダイセン水和剤	7日	7回	400~600	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	ベルコート水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	7/14	1000倍	250ℓ	7/25	1000倍	250ℓ	/	倍	ℓ
	トップジンM水和剤	前日	5回	1500~2000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	ベンレート 水和剤	前日	5回	2000~3000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	アミスター 20フロアブル	前日	4回	2000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	オーソサイド水和剤80	14日	5回	400~800	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
菌	リドミルゴールドMZ	7日	3回	1000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	エポルドー水和剤	-	-	500~800	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
						/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
						/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
						/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
殺	ダントツ 水溶剤	前日	3回	2000~4000	100~300ℓ	7/25	4000倍	250ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	フェニックス顆粒水和剤	前日	2回	2000~4000	100~300ℓ	6/27	4000倍	250ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	マラソン 乳剤	前日	6回	1000~3000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	テルスター水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	7/14	1000倍	250ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	トレボン 乳剤	3日	3回	1000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	ベストガード水溶剤	7日	3回	1000~2000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	ダニサラバフロアブル	前日	2回	1000	100~350ℓ	7/25	1000倍	250ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
虫	コロマイト乳剤	7日	2回	1000	100~300ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
	アト24-1	7/25	1回	5g/畝		7/25	5g	2kg	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
						/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ
						/	倍	ℓ	/	倍	ℓ	/	倍	ℓ

* つがるブランドすいかは農薬成分使用回数が10回以内です。 * 上記農薬は2016/05/25に登録確認しました。
 ★農薬の安全使用について
 ①必ず登録のある農薬(農薬は、随時新規登録、登録失効等の変更があります最新の登録状況を確認してください)を使用しましょう。
 ②農薬の使用に当たっては、必ず農薬の使用基準(適用作物、希釈倍率、収穫前日数、使用回数、使用液量)を確認して使用しましょう。
 ③薬剤名や剤形が違って成分が同じ農薬があります。同一成分での総使用回数制限がありますので必ず農薬のラベルで確認して使用しましょう。
 ④散布時は、他の作物や収穫期の異なるすいか・メロン、隣接ほ場への飛散(ドリフト)に充分注意し、散布後は散布機具の洗浄を徹底しましょう。

防除用紙番号	すいか 品種名	ほ場 番号	1 2 3 4 5 6	生産者 番号	生産者 氏名	収穫開始日	/ /
						収穫終了日	/ /

4.防除関係 (使用した薬剤名の使用月日欄・使用濃度(希釈倍数)欄・散布量(散布水量)欄にそれぞれ記入する。)
 ※防除用紙についてはほ場・品種・収穫時期が異なる場合は別用紙に記入する。ただし、品種・収穫時期が同じで、農薬散布を常に同一日に散布できる場合は同じ防除用紙に記入してもよい。(防除用紙が複数枚になる場合は作型の早い順に用紙番号と総枚数を記入する)

用途	使用農薬 薬剤名	収穫前 日数	使用 回数	希釈倍数 または使用量	使用液量・使用量 (10aあたり)	使用月日・使用濃度(希釈倍数)および散布量(散布水量)							
						1回目		2回目		3回目		4回目	
						月/日 濃度	散布量	月/日 濃度	散布量	月/日 濃度	散布量	月/日 濃度	散布量
殺	ダコニール 1000	3日	5回	700~1000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	ジマンダイセン水和剤	7日	7回	400~600	100~300ℓ	/		/		/		/	
	ベルコート水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	/		/		/		/	
	トップジンM水和剤	前日	5回	1500~2000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	ベンレート 水和剤	前日	5回	2000~3000	100~300ℓ	/		/		/		/	
殺	アミスター 20フロアブル	前日	4回	2000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	オーソサイド水和剤80	14日	5回	400~800	100~300ℓ	/		/		/		/	
	リドミルゴールドMZ	7日	3回	1000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	Zボルドー水和剤	-	-	500~800	100~300ℓ	/		/		/		/	
						/		/		/		/	
殺	ダントツ 水溶剤	前日	3回	2000~4000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	フェニックス顆粒水和剤	前日	2回	2000~4000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	マラソン 乳剤	前日	6回	1000~3000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	テルスター水和剤	前日	4回	1000	150~300ℓ	/		/		/		/	
	トレボン 乳剤	3日	3回	1000	100~300ℓ	/		/		/		/	
虫	ベストガード水溶剤	7日	3回	1000~2000	100~300ℓ	/		/		/		/	
	ダニサラバフロアブル	前日	2回	1000	100~350ℓ	/		/		/		/	
	コロマイト乳剤	7日	2回	1000	100~300ℓ	/		/		/		/	
						/		/		/		/	
						/		/		/		/	

* つがるブランドすいかは農薬成分使用回数が10回以内です。 * 上記農薬は2016/05/25に登録確認しました。
 ★農薬の安全使用について
 ①必ず登録のある農薬(農薬は、随時新規登録、登録失効等の変更があります最新の登録状況を確認してください)を使用しましょう。
 ②農薬の使用に当たっては、必ず農薬の使用基準(適用作物、希釈倍率、収穫前日数、使用回数、使用液量)を確認して使用しましょう。
 ③薬剤名や剤形が違って成分が同じ農薬があります、同一成分での総使用回数制限がありますので必ず農薬のラベルで確認して使用しましょう。
 ④散布時は、他の作物や収穫期の異なるすいか・メロン、隣接ほ場への飛散(ドリフト)に充分注意し、散布後は散布機具の洗浄を徹底しましょう。